

発言No.           

受付No. 9

令和3年2月15日

10時06分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 13 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 「はまだお魚市場」について

- ① 浜田漁港周辺エリアの活性化は浜田市全体の活性化につながり、その活性化の中心的な役割を持つ、旧：しまねお魚センターを改装した山陰浜田港公設市場、名称「はまだお魚市場」の仲買棟がいよいよ3月21日にオープンします。「はまだお魚市場」の指定管理者である第一ビルサービスは江津市の温泉施設「風の国」の指定管理者でもあり、ペルソナ分析で特に広島からの若い世代の誘客に効果を出されています。「はまだお魚市場」のコンセプトもペルソナ分析をした上で「ここにしかないとびきりいいもの」という一つのテーマを掲げて運営に当たるとしてはいますが、このコンセプトに期待するところを市長に、ご所見をお伺いします。
- ② 交流人口客の利用はもちろんですが、その施設を支えるのは浜田市民です。まずは、市民に継続的に来て利用してもらうことが第一です。そのためには、指定管理者の努力はもちろんですが、施設周辺エリアに家族で行きたくなるような、ゾーン構築が必要不可欠だと思います、どんなゾーンを考えているのか、実現可能なものを含めてお伺いします。

#### 2 木育について

- ① 木のぬくもりに触れる体験は、単に木材への知識を深めるだけでなく、豊かなこころや感性をはぐくむきっかけになると、近年では保育分野での木育は大きく広まっております。先日、弥栄中学校の生徒が杵束保育園の園児に木のぬくもりを感じてもらおうと、積み木100個送ったと新聞記事がありました。その活動に感心すると同時に一つの疑問がわきました。浜田市の子どもたちや大人たちは、魚の種類(イカ・アジ・ノドグロ等)は言えても、特に広葉樹(ブナ・ナラ・クリ等)の種類は言えるのでしょうか?おもちゃや木工製品の材質を説明書で見て分かるのではなく、小さい時から樹木の葉っぱを見て、板材の色や木目を比較し、匂いを感じ、種類を見分けられる木育も大事だと思います。そこまで取り組みをされているのでしょうか?海と山に囲まれた浜田市だからこそできる教育として、海洋教育と併せて取り組むべきだと思いますが、教育長にご所見を伺います。

### 3 線路はなくても未来に続く「広浜鉄道今福線」について

- ① 令和2年度の施政方針で市長は「広浜鉄道今福線」は浜田市の宝だとして利活用と地域活性化を取組むとしてきましたが、コロナ禍でそれもままならず、また、昨年行われる予定だった全国未成線サミットも延期となり、令和3年11月の開催予定となりました。沿線住民が大事に環境整備をしてきたこの今福線、これまでの利活用や地域の活性化に、どこまで取り組まれて「浜田のお宝」になっているのでしょうか、お伺いします。
- ② サミットでは全国から関係者や鉄道ファンが来浜されます。特に鉄道ファンは熱烈な人たちが多く全国に情報発信してもらえる絶好の機会だと期待していますが、今福線は線路もトロッコ列車もありません。遺構跡だけで迎えるのでしょうか。何とかインパクトのある未成線サミットにしなければなりません。そこでこれまでなかったシンボルマークの作成、2年に1回開催される全国サミットで持ち回りができるフラッグの作成、第3回目の開催都市として作成提案することを打ち出し、前夜祭やセレモニーで、日本遺産でもある神楽を従来とは違う圧巻の演出にしたり、さらに浜田市民や旧国鉄、JRの人に呼びかけ「はまだ版・鉄道グッズお宝大会」等を企画して市民参加型の大会にしてはと思いますが、ご所見をお伺いします。

### 4 センスの良い商品について

- ① 東部の道の駅やお土産店を利用すると、センスの良いお土産品に出会う機会が多い。「センスの良いお土産品」とは、目を引くパッケージデザインやユニークなネーミング、食べるのに丁度いい量、これらの要素を満たしているものと私は考えます。最近、松江のお土産品をいただきました。その方になぜ、この商品を購入したのかを聞いてみると、前項で言ったことに加えて「お友達にお土産をあげる時はセンスが良いものを送りたいから」とのことでした。これらを踏まえ、既にあるお土産品をそのまま売るのではなく「センスの良い商品」にブラッシュアップすることを行政から企業に提案するのはいかがでしょうか？ご所見をお伺いします。

発言No.

2

受付No.

1

令和 3 年 2 月 10 日  
10 時 09 分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 5 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者  
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

- 1 令和3年1月7日からの凍結被害について（特に金城自治区）
  - (1) 当日までの凍結対策について
    - ① 低温情報を受け上下水道部はどのように対応したのかを伺う。
    - ② 水道利用者の対応を配水側はどのように判断するか伺う。
  - (2) 凍結被害が発生した時の対応について
    - ① 発生の報を受け上下水道部はどのように対応したのかを伺う。
    - ② 水道利用者の対応を上下水道部はどのように判断するか伺う。
  - (3) 凍結が生活に及ぼした影響について
    - ① 影響の評価を伺う。
  - (4) 施設について
    - ① 施設老朽化の凍結被害に対する評価を伺う。
    - ② システムの凍結被害に対する評価を伺う。
  - (5) 今後の対応について
    - ① 施設・システムの調査検討、必要な対策を何時迄に行うのか伺う
    - ② 市民へ凍結被害に対する原因・対策の説明を何時迄に行うのか伺う。



発言No. 3

受付No. 5

令和 3年 2月15日  
9時21分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号18番

氏名 道下文男

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 魅力ある浜田市づくりについて

##### (1) 浜田漁港の活性について

- ① 浜田漁港での昨年度の年間水揚量が1万トンを、金額も40億円を割った。連鎖しての基幹産業である漁業の衰退を大いに懸念するが、市の考えを問う。
- ② 浜田漁港は、多種多様な漁獲物と鮮度が“売り”であり、新規オープン「はまだお魚市場」盛会へ、これ以上の地元船団の廃業があってはならないと考えるが、市の見解を問う。

##### (2) 教育環境の充実について

- ① 小学校5・6年生を教科担任制という答申を中央教育審議会がまとめ、よりきめ細かな指導による授業の質向上に期待するが、優秀な教員確保へ、教員のなり手不足も大きな課題であるとする。市の見解を問う。
- ② 島根県においては、働く保護者の利便性向上へ放課後児童クラブを時間延長するという動きがあるが、支援員確保など諸課題の対応について市の考えを問う。
- ③ 昨今の社会情勢の中、通学路の安全対策が進められているが、一方では遠距離通学での対策強化も長年にわたり要望が出ている。市の考えを問う。

##### (3) 人口減少対策について

- ① コロナ禍などの様々な影響によって、全国では昨年度の自殺者が大幅に増え、特に女性が過去5年で最多となり小中高生も1980年以降最多となった。人口減少が進む浜田市において看過できない問題であり、市の現状を問う。
- ② コロナ禍でのコミュニケーション不足も大きな要因の一つであると言われていたが、対策への考えを問う。
- ③ コロナ禍を逆手にとって、U・Iターン者の受け入れと県外流出の両対策を今こそ強化すべきと考えるが、市の見解を問う。



発言No. 4

令和 3 年 2 月 15 日  
10 時 59 分 受付

平成 3 年 2 月 15 日  
10 時 59 分 受付

## 発 言 通 告 書

議席番号 23番 氏名 西村 健

発言の種別 (項目を○で囲む)	質疑 <input type="radio"/> 個人一般質問 <input checked="" type="radio"/> 緊急質問 <input type="radio"/>
答弁を求める者 (該当者を○で囲む)	<input checked="" type="radio"/> 市長 <input checked="" type="radio"/> 教育長 <input type="radio"/> 監査委員 <input type="radio"/> 選挙管理委員会委員長 <input type="radio"/> 農業委員会会長 <input type="radio"/> 固定資産評価審査委員会委員長 <input type="radio"/> 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

1	幼児教育 及び公立幼稚園の今後のあり方について 現在、わたしが所属する総務文教委員会において取り組んでいる「こどもの可能性を育む幼児教育」という政策課題の視点に基づき、基本的には、11月16日に開催された議会全員協議会において示された「公立幼稚園の今後のあり方(案)について」〔以下、「あり方」(案)〕に沿って質問する。
(1)	幼児教育における課題認識について
①	現在の浜田市の諸計画における幼児教育の位置付けに対する認識について問う。
②	現在の市立幼稚園の幼児教育に対する保護者の評価についての認識を問う。
③	幼児教育における公立幼稚園が果たす役割に対する認識について問う。
④	幼児教育において幼児教育センターが果たす役割・機能および業務に対する認識について問う。
(2)	公立幼稚園の統廃合方針について
	「あり方(案)」の「4 公立幼稚園統合の方針について」から、以下の①～③について問う。
①	1園に統合する理由に園児数やクラス分けを挙げている根拠について問う。
②	「幼児教育の基幹施設として機能をする」とはどういう意味か。
③	「統合園の教育課程は、～、新たな時代に対応する内容とする」の「新たな時代」とは何を指すのか。またそれに対応する教育課程は存在するか。市立幼稚園の維持・継続のためには、「あり方(案)」の「5 新たに実施を予定している保育サービス」に記載している3サービスは、1日も早い提供が必須条件と考えるがどうか。





発言No. 5

受付No. 15

令和3年2月15日

10時45分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 1 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者  
(○をつける)

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 コミュニティづくりのアプローチについて

高齢化・人口減少が進み、地域コミュニティという社会基盤が弱まっている。その人らしい生活を送ることができる社会の実現には、孤立しないこと（つながり）が重要であり、関係の構築にはテーマや人材等が必要になってくると考える。市民共通のテーマでありながら、普段は意識しにくい「健康」に着目し、コミュニティづくりにおける保健・医療・福祉分野のアプローチについて、以下質問する。

#### (1) 保健・医療・福祉事業によるコミュニティづくりについて

- ①コミュニティづくりにおける保健・医療・福祉的アプローチをどのように捉えているか。
- ②コロナ禍に、社会とのつながりの回復を求める傾向が強くなったのではないか。その状況は。
- ③地域包括ケア（病院と施設の医療介護連携）だけではカバーしきれない領域がこれから増えると考えますが、そこをカバーする人材（保健師、保健委員など）や体制は十分であると考えるか。
- ④今後、まちづくりセンターに求める役割において、社会福祉をどのように位置付けているか。

以上



発言No.

6

受付No.

6

令和3年 2月 15日

9 時 2 / 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番

氏名 西 田 清 久

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1. 協働のまちづくりの推進について

##### (1) 市民の意識の醸成について

- ① 浜田市協働のまちづくり推進条例は、内容のある大変すばらしい条例だと思うが、広く市民に浸透し、協働のまちづくりが機能していくための方策を問う。

##### (2) 浜田那賀方式自治区制度が設置された原点の考え方について

- ① 自治区制度の期限を令和3年3月31日と定められた理由について問う。

##### (3) 地域自立基金条例の制定について

- ① 条例にも、先ほど開催された「協働のまちづくりオンライン市民集会」においても、市は“協働のまちづくり”の推進には財政的支援をすると明言されていたが、「浜田市まちづくり総合交付金」や「中山間地域枠」以外での財政的支援の考えについて問う。
- ② 浜田市が、これから自立に向けたまちづくりを積極的に推進して行こうとする時、地域の自立意識の醸成のためにも、地域で一定の自己決定権（責任）を担うためにも「地域自立基金条例」の制定に向けて動き出してはどうか問う。

#### 2. コロナ禍による今後の地方創生について

- ① コロナ禍の中で、人の動きが極端に減少し、それに伴う地域経済の流れも大きく影響を受けている。国・県・市もあらゆる支援策の手を打っているが、先行きが読めない。今後、国の地方交付税交付金や補助金の考え方、また国民の負担等においても地方自治体にとって今まで通りにはいかならないと思うが、市の考えを問う。

